

緑園地区第4期福祉保健計画研修会

特別講座 「忘れても心は生きている」 ～認知症の妻を介護する家族の話～

2月22日(日)令和7年度第4期福祉保健計画研修会が緑園地域交流センター中小会議室で行われました。最初に緑園地区の現状について、民生・児童委員協議会中村会長から昨年の国勢調査結果が紹介され、緑園地区は高齢者世帯や単身世帯「いわゆる(おひとり様)」が前回調査よりも増加しているとの説明がありました。

次に緑園地区社協伊藤会長は、今年4月から始まる「第5期緑園地区福祉保健計画」の取組について説明し、新たに、ふらっと・緑園サロン・さくらカフェ緑園合同食事会、健康づくり事業はポッチャ大会、子育て支援団体による子供向けゲームブースを連合夏祭りに出店する計画など発表されました。

特別講座は「忘れても心は生きている」公益社団法人認知症の人と家族の会 理事三橋良博氏の体験談やエピソードが紹介され、その中で、奥様は52歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断されたが、認知症は何もわからなくなってしま病気でなく、豊かな感情、優しい気持ち、感謝する心はしっかりと残っている。優しい気持ちで接すれば鏡のように返ってくる。最後に、「周りの優しさは連鎖する」と地域の人たちに感謝を述べて、講演会は終了しました。

緑園地区社協広報部



民児協 中村会長 講演



伊藤会長わくわくプラン 説明



三橋 良博氏による講演



第39回泉区社会福祉大会開催報告 ～第5期「わくわくプラン」完成記念パネルディスカッション～

令和8年2月27日泉公会堂で第39回泉区社会福祉大会が開かれました。第1部式典は、泉区社会協員沼貞夫会長の挨拶に続き、区内で社会福祉活動に功績が認められた個人及び団体等が表彰されました。緑園地区は、さくらカフェ緑園ボランティア甲賀婦巳子氏が「福祉団体自主活動功労」を受賞されました。

第2部では第5期「わくわくプラン」完成記念パネルディスカッションが行われ、下和泉地区・中田地区の地区別計画作成プロセスなど紹介された。アドバイザー村井祐一教授(田園調布学園大学副学長)からは「地域活動の仲間を増やす」ヒントが伝えられました。また地域活動する人たちは「わくわく」する笑顔が大切であると述べられて閉会しました。

緑園地区社協総務部



受賞者を囲んで



福祉団体自主活動功労 受賞の甲賀婦巳子氏



アドバイザー 村井祐一教授

第4期 泉わくわくプラン推進イベント開催



緑園地区社協が「パラコードバディ」作り『ワーク ショップ・ブース』を出展
 2月21日・24日～27日、令和7年度泉わくわくプラン推進イベントが泉区役所1階区民ホールで開催しました。泉区内の12地区・関係機関の地域活動や取組がパネルで紹介され、期間中は関係団体によるワークショップ・ブースが出展しました。21日(土)は緑園地区社協がパラシュートに使われる丈夫なコード(紐)の人形「パラコードバディ」作りのワークショップブースを出展し、子供や大人が試行錯誤しながら人形作りを体験し楽しんでいました。(広報部)



会場入り口案内



緑園地区のパネル



人形作りの様子



「子育て応援スポットを巡るシールラリー」

緑園子育てネットワーク連絡会主催の「子育て応援スポットを巡るシールラリー」を2月14日(土)に開催しました。参加者は地域にある保育園・親子のつどいの広場・子育てサロン・放課後児童クラブなどを巡り、シールを集めながら楽しく歩きました。道中では参加者同士の交流も生まれ、地域のつながりを感じられる時間となりました。ゴール地点では、ほくほくの焼き芋が振る舞われ、さらに保育園の先生による出し物も行われました。子どもたちはもちろん、大人からも笑顔があふれる和やかなひとときとなりました。

GENKIDS 緑園都市保育園 園長 熊谷 みなみ



みんなであたたかい日差しの中
 おいしく焼き芋を食べました



保育士のたのしいおはなしに
 みんな夢中です



焚火がパチパチ、おいしい
 焼き芋をやいています

(主催) 緑園子育てネットワーク連絡会

第4回緑園地区シニア連合麻雀大会開催されました

令和8年2月15日(日)緑園地区シニア連合は、東花会、南北緑友会協賛のもと第4回麻雀大会を実施いたしました。今回は参加者全員の集合写真撮影からスタート、和やかな雰囲気から始まり、出場された皆さんは優勝を目指し、熱気あふれる会となり、日頃の練習の成果を存分に発揮されました。優勝は川口さん、2位高島さん 3位稲葉さんでした。中でも、今回は大病を克服しての参加者が多く『がんばるシニア』ここにありの大会でした。(シニア連合)



参加者全員にっこり



スタート



成績発表



間島大会長講評

